

1. 件 名：電気設備の機器認定に係る新規 IAEATECDOC に関する情報交換
2. 日 時：令和 5 年 6 月 14 日(水)13 時 30 分～14 時 30 分
3. 場 所：オンライン
4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

皆川副主任技術研究調査官

池田技術研究調査官

一般社団法人原子力安全推進協会：1 名

MHI NS エンジニアリング株式会社：2 名

5. 要旨

国際原子力機関（以下「IAEA」という。）では、新たに原子力発電所の事故条件に係る機器認定に関する TECDOC（IAEA が発行する報告書カテゴリーの 1 つで、技術的内容を記載した文書）の作成が検討されている。日本からは、一般社団法人原子力安全推進協会（以下「JANSI」という。）及び MHI NS エンジニアリング株式会社（以下「MHI NS」という。）が当該 TECDOC 策定に関する第 1 回会合（6 月下旬）に参加する予定であることから、会合概要について説明を受けるとともに、意見交換を行った。

はじめに、JANSI 及び MHI NS から、今回会合では TECDOC のスコープと章構成等について検討し、その後 TECDOC 作成作業を行う予定となっている旨説明があった。また、会合では、日本からの紹介として、東京電力福島第一原子力発電所事故後の機器認定一般に関する経験と TECDOC 作成において議論すべき項目について述べる予定である旨説明があった。これに対し、原子力規制庁（以下「規制庁」という。）より、国内では、実機材を使用した機器認定のための試験も行われており、また実機材を使用した試験研究は国際的にも関心を集めていることから議論項目になり得ると考えられること等について意見を述べるとともに、TECDOC において機器認定に関連する試験研究について記載する場合には、規制庁の電気・計装設備に係る安全研究の情報を含めることが可能である旨説明した。今後、TECDOC 策定会合の結果を踏まえ、引き続き意見交換を行うこととした。

6. その他

資料：なし